

多様で個性あふれる町村の実現に向け、様々な施策の展開を期待

衆議院議長 細田 博之

本日、全国町村長大会が開催されるに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

まず、新型コロナウイルスの度重なる感染拡大により、経済的・社会的影響が続く中、感染拡大防止や地域経済の再生・回復に向けた対策の先頭に立って取り組んでおられる地方自治体の皆様や関係者の方々に対し、深く感謝いたします。そして、近年の激甚化・頻発化する自然災害に対し、迅速できめ細やかな対応が進められているほか、住民の暮らしの安定・向上に向け、各地域の特性や住民ニーズに応じた取組を進められていることに対しまして、改めて敬意を表します。

今日、我が国では人口減少や少子高齢化が進んでおり、その影響は町村においては特に大きく、対応が急務となっております。一方で、町村は、食料の安定供給や国土の保全など、国民生活の根底を支えており、その担うべき役割は一層重要なものになっております。このような中、近年の地方移住への関心の高まりにより、地域社会や多彩な自然環境の持つ価値や魅力が再評価されていることは、地方と都市の関係に前向きな変化を与えております。これを機に、町村長の皆様のリーダーシップにより、それぞれの地域の魅力の発信と、雇用など生活基盤の整備を両輪として進められ、多様で個性あふれる町村の実現に向け、様々な施策を展開されることを期

待しております。

国会では、本年五月、農山漁村における農用地の保全等を図るための「改正農山漁村活性化法」が全会一致により成立いたしました。衆議院といたしましては、今後も地域の声に耳を傾けながら、関係委員会等において議論や調査を重ねてまいります。皆様におかれましては、町村が主体となった活力ある地域づくりの実現のため、引き続き積極的な御提言をいただきたく存じます。

結びに、本大会の御成功と御列席の皆様方のますますの御活躍と御健勝をお祈りして、御挨拶といたします。